



起動！西の湖プラットフォーム 西の湖カレンダー完成報告会

2月18日、西の湖すてーしょんで西の湖プロジェクト主催「西の湖カレンダー完成報告会」が行われました。西の湖カレンダーとは、自然資源あふれる西の湖の魅力をよりたくさんの人に知ってほしいという、市民団体により完成したウェブサイトです。四季折々楽しめるイベントの紹介や、県立大学の学生が魅力を伝える「西の湖調査探検隊」クイズ、ぬりえコーナーなど、幅広い世代が理解を深め楽しめます。来賓の江南仁一郎副市長は「長年課題となっている西の湖の環境整備や観光誘致について、新たな光が見え非常に喜ばしい」と祝辞を述べていました。



滋賀のええところ かるたで発見！

県内の名所や名物、文化などを知るたにし、遊びながら故郷・滋賀を知ろうという「滋賀コレかるた」の地域活性化プロジェクト。この活動に賛同した奥井グループ（奥井敦史代表）が2月22日、八王子保育園（島町）の全児童に1人に1つずつかるたをプレゼント。年長クラス24人でかるた大会が開かれました。「こんにやくも まっ赤が好きと 信長さん」など、易しく学べる読み札と愛らしいイラストが特長です。子どもたちは「ばあばが（おうちに）来てくれるから一緒に遊ぶよ」などと、うれしそうでした。かるたは白鷺しらさぎこども園にも贈られました。



節分の面作り

北里学区まちづくり協議会の子どもみらい部会主催で、就園前の0歳から3歳までの地域の子どものとその保護者を対象とした親子のイベント（おひさま広場）が、1月19日にふれあいホールで開催されました。

カップ麺の容器に色紙や毛糸を使った鬼の面作りを、子どもたちと保護者が一緒に取り組みました。出来上がった面を子どもたちがかぶり、記念撮影。短い時間でしたが、地域の保護者同士のふれあいの場が広がっていました。



老人クラブと6年生がコラボし 縄跳びジャンプ台が完成

岡山区老人クラブ連合会の有志が、社会貢献の一環で子どもたちが縄跳びを楽しく練習できるようにと、ジャンプ台3台を約1か月かけ製作し、岡山小学校に寄贈。さらに学校では、6年生の児童が卒業記念にと、クラスごとに1台ずつ思い思いの絵を描き上げ、3月9日にお披露目されました。絵のデザインは、バーチャルシンガーのキャラクター、うさぎと「深い絆と友情」が花言葉の朝顔、映画のアニメキャラクター。下絵描きからペンキ塗りまで、ていねいに仕上げました。集まった老人クラブのメンバーや6年生の児童は「在校生たちに楽しく縄跳びを飛んでもらえれば」と仕上がりに目を細めていました。